

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和3 年度)

施策コード	123	施策名	文化・芸術・スポーツ活動の支援
将来像	1	安全でうれしいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)	
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち	
主担当部	教育部	主担当課	生涯学習スポーツ課

2. 施策の方向

10年後の姿	市民は自分にあった文化・芸術・スポーツ活動を楽しみながら、健康で心豊かな生活を送っています。また、そのような活動を通して、人と人との交流の広がりや深まりが進んでいます。		
施策の方向性	1	市民文化・芸術の充実と発展をめざします	
	2	誰でも気軽にスポーツ活動に親しめる環境をつくります	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和3年度決算額
特別展事業	1	シティプロモーション課	7,051
文化活動振興事業	1	生涯学習スポーツ課	1,859
清瀬けやきホール運営管理事業	1	生涯学習スポーツ課	84,283
体育等振興事業	2	生涯学習スポーツ課	2,056
東京2020大会関係事業	2	生涯学習スポーツ課	1,558
清瀬内山運動公園等管理事業	2	生涯学習スポーツ課	217,070
総事業費(施策の合計)			313,877

4. まちづくり指標

指標情報				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	この一年で芸術・文化に接したことがある人の割合		目標値	67.5	67.5	67.5	65.0	68.0
	説明	—	単位 %	実績値	61.9	61.9(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	91.7%	91.7%			
②	名称	この一年でスポーツ・レクリエーションに参加したことがある人の割合		目標値	36.7	36.7	36.7	33.8	35.2
	説明	—	単位 %	実績値	30.2	30.2(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	82.3%	82.3%			

※①②抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和3年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●清瀬内山運動公園サッカー場の人工芝改修などの工事を行い、利用者が快適に利用できる環境整備を図ることができた。</li> <li>●東京2020大会のレガシーとして新たに清瀬ポッチャ祭を開催した結果、例年申請数が一桁台だったニュースポーツの用具貸出は、令和3年度は45件の申請数となった。</li> <li>●清瀬市出身の東京2020大会出場アスリートによる講演会を実施し、参加者からは「涙が止まらなかった。」「清瀬市から選手を送り出せた事を誇りに思う。」といった声を頂いた。</li> <li>●郷土博物館では、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じながら特別展「文化勲章受章記念 澄川喜一展」と「走れ！清瀬鉄道物語」を開催し、多くの方々にご来館いただいたほか、講演会を別の会場で見られるサテライト放送の実施や展示解説をインターネット動画配信するなど、コロナ禍でも郷土博物館事業を満喫できる仕組みを導入することができた。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和3年度からの 変更点	新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントの実施方法等の見直しが必要となる。
-----------------	---

7. 施策を進める上での課題

	施策を進める 上での課題	テニスコートや野球場などのスポーツ施設を快適にご利用いただくため、施設の改修や維持管理、設備・備品などの更新が必要である。
①	課題に対する 令和5年度以 降の取組	野球場の改修や維持管理などスポーツ施設の維持管理を実施する。
	施策を進める 上での課題	運営スタッフの高齢化等による人材確保が難しい。
②	課題に対する 令和5年度以 降の取組	スポーツ事業のボランティア協力体制の充実を図る。